2026年8月期　通期決算説明資料

WEST GROUP
株式会社ウエストホールディングス

（東証スタンダード市場　証券コード：1407）
2026年10月26日

目次

1・業績ハイライト

2・2027年8月期決算見通し

3・2027年8月期決算展望

4・ウエストグループ企業概要

1・業績ハイライト

2・2027年8月期決算見通し

3・2027年8月期決算展望

4・ウエストグループ企業概要

事業ポートフォリオの変化により、収益性が大きく向上

（単位：百万円）	FY2026	FY2025	前期比（増減）
売上高	56,649	47,250	19.89%
売上総利益	20,779	16,292	27.54%
売上総利益率	36.6%	34.4%	2.2 PT
販売費・一般管理費	7,787	7,645	1.86%
販売管理費率	13.7%	16.2%	▲2.5PT
営業利益	12,992	8,646	50.27%
営業利益率	22.9%	18.3%	4.6 PT
経常利益	11,435	7,961	43.64%
経常利益率	20.1%	16.8%	3.3PT
親会社株主に帰属する当期純利益	8,040	5,357	50.08%

【 収益性向上の要因 】

① **事業構成の変化**
系統用蓄電所事業が拡大

② **粗利益率の改善**
34.4% → 36.6%（+2.2PT）

③ **販管費率の低下**
16.2% → 13.7%（▲2.5PT）

総合エネルギーマネジメント企業 WEST GROUP

系統用蓄電所が大幅伸長、自家消費型太陽光も回復基調へ

単位：百万円		FY2026	FY2025	前年比（増減）
再生可能エネルギー事業	産業用太陽光発電所請負（自家消費）	9,907	9,416	5.21%
	非FIT太陽光発電所開発（ウエストFIT）	8,395	16,820	-50.09%
	非FIT太陽光発電所開発（高圧発電所）	1,201	2,073	-42.06%
	ウエストタイ	2,174	2,827	-23.10%
	その他	3,031	1,131	167.99%
蓄電所事業		21,715	5,711	280.23%
省エネルギー事業		967	1,156	-16.35%
電力事業	グリーン電力卸売	2,428	1,547	56.95%
	自社売電事業	5,018	4,613	8.78%
メンテナンス事業		1,813	1,952	-7.12%
計		56,649	47,250	19.89%

◆蓄電所事業

57.1億円 → **217.1億円**

+160億円　約3.8倍

◆産業用太陽光発電所請負

94.1 億円 → **99.0億円**

回復基調

（単位：百万円）	FY2025	FY2026	増減額	主な増減要因
流動資産	89,170	99,129	9,959	現預金、完成工事未収入金の増加
固定資産	59,376	64,440	5,063	ウエストニュージーランド村　特別高圧蓄電所の完成（自社保有）、発電所・蓄電所の土地の先行取得
資産合計	148,546	163,570	15,023	
流動負債	39,666	53,214	13,548	短期借入金及び未払法人税等の増加
固定負債	72,342	68,602	▲ 3,740	長期借入金の減少
負債合計	112,008	121,817	9,808	
株主資本	35,890	39,985	4,095	利益剰余金の増加
その他の包括利益累計額	333	1,357	1,024	保有有価証券の評価増
非支配株主持分	313	409	96	
純資産合計	36,537	41,752	5,214	
負債純資産合計	148,546	163,570	15,023	

1・業績ハイライト

2・2027年8月期決算見通し

3・2027年8月期決算展望

4・ウエストグループ企業概要

総合エネルギーマネジメント企業 WEST GROUP

増収を背景に、過去最高水準の利益成長へ

単位：百万円	FY2027 通期計画	FY2026 通期実績	前期比（増減）
売上高	70,412	56,649	24.30%
営業利益	15,600	12,992	20.07%
営業利益率	22 .1%	22.9%	▲0.8%
経常利益	13,500	11,435	18.06%
経常利益率	19.2%	20.2%	▲1.0PT
親会社株主に帰属する当期純利益	9,379	8,040	16.65%

蓄電所を成長ドライバーに、売上高　700億円に

単位：百万円		FY2027 通期計画	FY2026 通期実績	前年比（増減）
再生可能エネルギー事業	産業用太陽光発電所請負（自家消費）	12,000	9,907	21.13%
	非FIT太陽光発電所開発（ウエストFIT）	10,620	8,395	26.50%
	非FIT太陽光発電所開発（高圧発電所）	268	1,201	-77.69%
	ウエストタイ	1,950	2,174	-10.30%
	その他	1,530	3,031	-49.52%
蓄電所事業		32,890	21,715	51.46%
省エネルギー事業		750	967	-22.44%
電力事業	グリーン電力卸売	3,804	2,428	56.67%
	自社売電事業	4,900	5,018	-2.35%
メンテナンス事業		1,700	1,813	-6.23%
計		70,412	56,649	24.30%

2027年8月期は、蓄電池事業の拡大を最大の成長ドライバーとして、売上高704億円（前期比24.3%増）を計画。
蓄電所事業は329億円（同51.4%増）まで拡大。加えて、産業用太陽光の再成長、ウエストFIT、グリーン電力卸売の拡大により、さらなる成長を目指す。

目次

1・業績ハイライト

2・2027年8月期決算見通し

3・2027年8月期決算展望

4・ウエストグループ企業概要

総合エネルギーマネジメント企業 WEST GROUP

再エネインフラを「つくる・守る・活かす」一貫した事業基盤

太陽光発電所で培った開発力・EPC・プロジェクト推進力を強みに、太陽光・蓄電所を中心とした再エネインフラ拡大と
安定的な運用・電力供給を通じ、持続可能な社会の実現に貢献します。

つくる（フロービジネス） 再エネ・蓄電所の開発・EPC

屋根設置型太陽光発電



ソーラーカーポート



系統用蓄電所



低圧非FIT発電所



高圧非FIT発電所



ソーラーシェアリング



太陽光で培った開発ノウハウを蓄電所へ展開

EPCとは、
「設計(Engineering)」「調達(Procurement)」「建設(Construction)」の頭文字をとったもの)

ウエストグループの強み

開発力

用地開発・許認可対応
系統連系協議

EPC

設計・調達・施工の
一気通貫の体制

プロジェクト推進力

案件組成・リスク管理
スピード重視の案件遂行

守る・活かす（ストックビジネス） 安定収益の創出 運営・メンテナンス・電力供給

電力事業・蓄電所事業





FIT太陽光発電所（売電）
グリーン電力卸売
系統用蓄電所の運営

メンテナンス事業（O&M）





地上設置型のメンテナンス
屋根設置型のメンテナンス
系統用蓄電所のメンテナンス

省エネルギー事業





LED照明への交換
空調機器の更新
デマンド制御装置の設置

開発・EPCによるフロー収益
太陽光・蓄電所の開発・建設

→

設備ストックの拡大
自社保有電源・蓄電所・O&M対象の拡大

→

運用・電力によるストック収益
売電・電力卸・O&M・省エネ

ストック収益を次の開発に再投資し、継続的な成長を実現

総合エネルギーマネジメント企業 WEST GROUP

事業特性を活かしたポートフォリオで、持続的な成長へ。

成長領域への経営資源投入と、既存事業基盤の強化を両立

		FY2026		FY2027
成長を牽引	系統用蓄電所	217億円	➡	329億円
再成長	産業用太陽光	99億円	➡	120億円
持続可能な供給	非FIT太陽光	84億円	➡	106億円
事業基盤を支える	ストック事業	102億円	➡	111億円

1,600件超の開発パイプラインを継続的に循環させ、FY2027　売上高　329億円へ

豊富な案件母集団をもとに、選別・入れ替えを繰り返しながら、開発・調達・施工・販売を同時進行で推進。
系統用蓄電所を最大の成長ドライバーとして、300億円超の事業規模を目指します。

開発パイプライン（系統連系申請）
1,600件超
（2026年9月末現在）

→ **案件の選別・事業化**
・用地開発
・系統連系協議
・法令、許認可
・事業性評価・選別

→ **FY2027売上候補案件（開発・協議中）**
約350億円以上
＋特別高圧蓄電所
（2026年9月末現在）

→ **案件の精査**
・FY2027の売上へ
・FY2028以降に
・事業化断念

→ **FY2027売上計画**
329億円

1,600件超の案件母集団から、新たな案件を継続的に取り込み・入れ替え

案件を循環させる「プロジェクト推進力」

売上計画を支える実行基盤

開発力
・系統連系申請数　1,600件超
・案件を継続的に選別・入替

調達力
・蓄電池はTMEIC（ティーマイク）を中心に機器構成
・一定量を先行発注し、調達リスクを抑制
・為替変動や海外物流の影響は軽微

施工体制
・FY2026で200億円超の完成実績
・現場監督や施工会社は継続増強
・先行工事、機器搬入などの工程管理を徹底し、竣工時期の遅延を防ぐ

販売・需要家
・三菱UFJモルガン・スタンレー証券によるファンド組成
・純投資を検討するプライム企業
・一括償却を目的とした投資など引き続き投資需要は堅調

総合エネルギーマネジメント企業 WEST GROUP

脱炭素対応と電力コスト上昇を背景に、産業用太陽光は再成長フェーズへ

制度・市場・電力コストの複数の要請により、自家消費太陽光の導入ニーズが拡大。
ウエストグループの強みを活かし、FY2027売上高120億円を目指します。

市場環境の追い風~複数の要請で導入ニーズが拡大~

エネルギー価格の上昇

- LNG価格の不安定化による電力価格の高騰
- 燃料費調整額の上昇

脱炭素ルールの高度化

- GHGプロトコル Scope2の改訂議論
- 非化石証書の調達ルールの見直し。実質的な再エネ利用

需要家のプロシュマー化

- 需要家が「電気を買う」から自社で、発電・蓄電・制御へ。
- 自己託送での発電所運営で企業の競争力に直結

GXの取り組みの開示化

- 改正GX推進法に基づく温室効果ガスの排出量の開示要請が拡大
- 有価証券報告でのGXの取り組みの開示要請が拡大

企業の自家消費型太陽光の導入ニーズが拡大
脱炭素対応×電力コスト削減×エネルギーの安定確保

受注状況と売上計画



月次10億円の受注ペースで維持し、
120億円の達成を目指す

ウエストグループの競争力~選ばれる４つの理由~

多様な販売チャネル

- 金融機関 89機関との連携
- 中国電力などの小売電気事業者との連携
- リース会社との連携
- GXコンサルのe-dashとの連携（CO2可視化サービス）

圧倒的な提案スピード

- 屋根材・屋根面積・パワコン容量などをマトリックス化したパッケージ商品
- 標準化により迅速な提案・見積を実現

幅広い商品ラインナップ

- ソーラーカーポート
- 軽量モジュール（耐荷重の約1/3）

長期保証とメンテナンス

- 長期保証による安心提供
- 全国対応のメンテナンス体制
- 発電所の監視・点検・保守まで一貫対応

「太陽光のウエスト」 –開発・EPC・O&Mの総合力で、120億円へ-

量から質へ。持続可能な開発へ。

適正な採算と地域との共生を重視し、再エネ電源を安定的に供給。

FY2026　旺盛な需要と価格のギャップ

発電事業者（投資家）

- 金利上昇により要求利回りが上昇
- **利回り確保のため売電収入を上げるか発電所の取得金額を下げる必要がある**

価格のギャップが発生

需要家（小売電気事業者・企業）

- 脱炭素ニーズは強く再エネ電源の需要は拡大
- **ただし、再エネ電源のkWh単価はまだ十分に上昇していない**

開発・EPC（ウエストグループ）

- 需要家への単価（kWh）に転嫁しきれない
- 発電事業者への発電所販売価格に対応

→→ **発電所譲渡価格を抑制し、一時的に利益率が低下**

FY2027　販売環境の影響と見通し

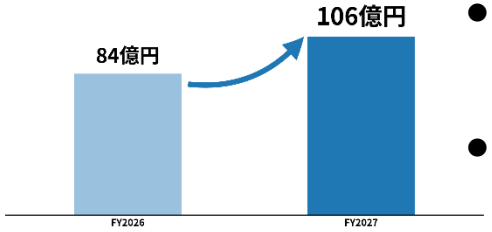
FY2026の状況

- 価格のギャップにより、当社が開発した発電所が思うように販売が進まなかった
- 新規開発もハザード・地域制・系統条件などにより厳選せざるを得ない状況

持ち越し・販売残の積み上がり

完成済・未販売、　系統連系回答受領済ともに数メガワットの繰り越し案件

FY2027の計画



- 持ち越し案件・販売残を着実に事業化
- 需要家・発電事業者との交渉を進めるために譲渡は下半期に偏る

今後の方向性（FY2028に向けて）

新規開発に加え、多様な手法で再エネ電源を確保し、安定的な供給を継続します

- 新たに造成や伐採・伐根などの開発行為をしない
- 電源を減らさない。FIT電源を有効活用
- 企業の屋根からの余剰電気の有効活用

新規開発以外での非FIT電源の開発

営農型太陽光発電所
- 自治体や農業従事者と連携して開発
- 木を切るなどの造成工事が不要

自家消費屋根の余剰買取
- 需要家ニーズの取り込み
- プロシューマー化への対応

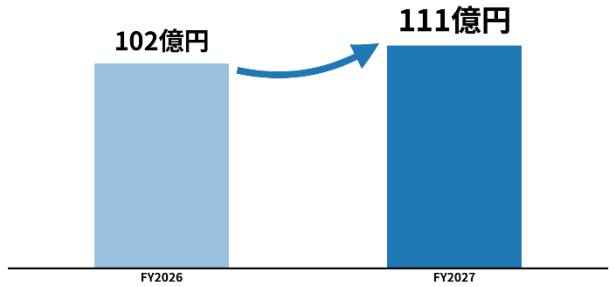
セカンダリー太陽光発電所の取得～再販
- 既存発電所の取得（稼働済）による早期の電源確保
- 設備のリパワリング・O&Mの強化

「太陽光のウエスト」として、時代の要請に合わせて電源開発・供給モデルを進化

総合エネルギーマネジメント企業
WEST GROUP

つくって終わりではない。
再エネインフラを長期に守り、活かすストック事業。

O&Mを主軸に、保有電源の運営とグリーン電力卸、省エネソリューションを組み合わせ、
安定的な収益基盤を拡大します。



メンテナンス事業（O&M）
ストック事業の中核

- 太陽光・蓄電所の点検・駆けつけ
- 全国体制による安定運用と長期サポート
- 広島本社に365日体制の監視センターを常設



自社保有電源の運営
安定収益の積み上げ

- 100MWを超えるFIT発電所からの売電収入
- 2026年9月より運用を開始した特別高圧蓄電所





グリーン電力の卸売
将来のアグリゲーションへの布石

- 自社開発の非FIT発電所からのグリーン電力の卸供給
- 低圧太陽光発電所を束ねたアグリゲーション事業



省エネルギー事業
既存顧客への付加価値

- LED照明・空調機器の更新
- デマンド制御装置の設置
- 新たな省エネソリューションの提供





開発・EPC
太陽光・蓄電所の開発・建設

→

設備ストックの拡大
自社保有・受託発電所の拡大

→

ストック収益の拡大
O&M・保有電源・電力卸・省エネ

ストック収益を次の開発に再投資し、持続的な成長を実現

総合エネルギーマネジメント企業
WEST GROUP

フローとストックの両輪で、持続的に成長する再エネインフラ企業へ。

太陽光発電で培った開発力・EPC・プロジェクト推進力を基盤にし、
太陽光・蓄電所を中心とした再エネインフラを拡大し、安定的な運用・電力供給を通じて
持続可能な社会の実現に貢献します



成長
市場ニーズを捉え、事業規模を拡大



系統用蓄電所
最大の成長ドライバーとして
事業規模を拡大



産業用太陽光発電
脱炭素・電力コスト対策を
背景に再成長

安定
ストック収益で安定した基盤を構築



非FIT太陽光発電
量から質へ。
持続可能な開発モデルへ。



メンテナンス（O&M）
豊富な設備ストックをもとに
安定収益を拡大

将来
新たな価値創造に向けた基盤づくり



グリーン電力の卸売・小売
取扱量・顧客基盤の拡大を優先し
将来のアグリゲーション機能を視野。





電源の多様化・自社保有電源の拡大
営農型、セカンダリーなどの電源の多様化
系統用蓄電所の自社保有を拡大。

目次

1・業績ハイライト

2・2027年8月期決算見通し

3・2027年8月期決算展望

4・ウエストグループ企業概要

総合エネルギーマネジメント企業 WEST GROUP

ウエストグループは、太陽光発電所の開発・建設で、企業と日本の脱炭素の課題解決をしている会社です

太陽光発電所　建設実績　75,317ヶ所・3,252,276kW ＊2026年7月末現在

開発（development）　EPC（E＝設計(Engineering）、P＝調達(Procurement)、C＝建設(Construction)

高圧発電所	水上ソーラー	低圧発電所	産業用ソーラー	住宅用ソーラー	営農型太陽光	ウエストタイ	自治体ソーラー
							
351 カ所	16 カ所	6,131 カ所	14,281 カ所	53,490 カ所	87 カ所	327 カ所	751 カ所
472,388 kW	21,425 kW	549,480 kW	1,785,125 kW	267,450 kW	8,700 kW	456,414 kW	25,560 kW

GHGプロトコル
GHG（Greenhouse Gas：温室効果ガス）の排出量を算定するための国際基準

「スコープ1」は企業が燃料の燃焼などによって直接排出したGHG
「スコープ2」は他社から供給された電気や、熱・蒸気の使用に伴い間接的に排出したGHG
「スコープ3」はその他の間接的な排出で、算定事業者の活動に関連する他社が排出したGHG

ウエストグループが開発・建設する太陽光発電所は、GHGにおいて、主に「スコープ2」に貢献しています

発電量を換算すると

CO2排出削減効果（421g-CO2/kWh）	1,437,668トン
一般家庭の消費電力量に換算すると（平均　4,602kWh）	742,044世帯分
森林のCO2吸収量（スギの木1本の年間CO2吸収量は約14kg）	杉の木 1億本
自動車の排出量（自動車1台あたりの年間CO2排出量を約2.3トン）	600,000台分

総合エネルギーマネジメント企業 WEST GROUP

ウエストグループは、非FIT太陽光発電所を開発し、アライアンスパートナーとともに企業のスコープ2の対策に貢献します

非FIT太陽光発電所の開発・建設

～発電所を開発・建設・守る～

ウエストG

低圧連系に特化。FIP制度を活用しない[非FIT]での開発。

土砂災害、津波、洪水などのハザードに考慮。

自治体の法令に沿って、住民説明会にも対応。

場内の草の対策として、全件に「防草シート」を貼り付け。







発電事業者

～発電所を保有し、発電事業をする～

発電事業者	中国電力 三菱HCキャピタルエナジー MUJIエナジー（JERA＆MUJI） SMFLみらいパートナーズ ENEOS リニューアブル・エナジー など

小売電気事業者

～再エネ電源を需要家に届ける～

小売電気事業者	中国電力 大阪ガス 東北電力 中部電力ミライズ JERA cross 丸紅新電力 コスモエネルギーソリューションズ など

最終需要家

～環境価値を取得する～

最終需要家	アマゾン MUJI（良品計画） Google イオングループ 大創産業 イズミ 北日本銀行　など

総合エネルギーマネジメント企業 WEST GROUP

ウエストグループは、アライアンスパートナーとともに自治体・企業の脱炭素の推進に貢献します

← 脱炭素に関するご相談、提携先の紹介依頼

提携先（ウエスト）の紹介、脱炭素融資 →

- メガバンク
- 地方銀行
- 政府系金融機関
- 地方銀行 子会社
- リース会社
- エネルギー会社

融資先・お客様の紹介→

ウエストG

脱炭素ソリューションの提案・
自家消費太陽光発電の提案→

産業用（民間）	ブルボン（お菓子の製造） カインズ（ホームセンター） 北越ケーズデンキ（家電量販店） 日清紡ブレーキ（摩擦材の製造） シャトレーゼ（お菓子の製造）など





ウエストグループが提供できるソリューション

【ステップ1】再エネ導入によるCO2削減

・自家消費太陽光発電所の提案
・余剰売電の太陽光発電所の提案

【ステップ2】消費電力を削減する

・蓄電池併設の提案
・LED照明や省エネ機器の提案

【ステップ3】企業・自治体の全体の脱炭素化

・再エネ電力メニューの提案
（アライアンスパートナーとの協業）

自治体との取り組み	広島県（県庁庁舎・免許センター） 静岡県沼津市（衛生プラント） 宮城県東松島市（非FIT開発） 広島県安芸高田市（屋根借り太陽光）など





総合エネルギーマネジメント企業 WEST GROUP

純粋持ち株会社

商号	株式会社ウエストホールディングス （コード番号：1407　東京証券取引所（スタンダード））
本社 所在地	（広島本社）広島市西区楠木町1丁目15番24号 （東京本社）東京都千代田区丸の内１丁目6番5号 丸の内北口ビルディング20階
設立	2006年3月1日（創業：1981年10月27日） [会社設立：1984年5月30日、持株会社設立：2006年3月1日]
代表者	代表取締役会長（CEO）　吉川　隆 代表取締役社長　　江頭　栄一郎
資本金	20億2,091万円（2026年8月末現在）
事業内容	太陽光発電所・省エネ機器・系統用蓄電所の企画～施工～メンテナンス～リサイクルまでのエネルギーソリューション事業を展開するグループ事業会社の包括的なマネジメント

事業子会社

株式会社ウエストエネルギーソリューション

・自家消費太陽光発電所（屋根）の企画・設計・建設・保守
・非FIT・FIP太陽光発電所（地べた）の企画・設計・建設・保守
・省エネ機器の企画・設計・設置・保守
・系統用蓄電所の開発・設計・建設・保守
・自社保有の太陽光発電所・系統用蓄電所の投資・運営

WEST International (Thailand) Co., Ltd.

タイを中心としたASEAN諸国でのエネルギーソリューションサービス

株式会社ウエストエナジー

・　再生可能エネルギーの買取、卸売り
・　非FIT発電所の系統連系協議、自己託送対応

企業理念



ウエストグループがあるべき姿として、掲げる理想であり、ウエストグループが生まれた理由です。
創業から一貫して持ち続け、これからも変わることはありません。「ウエストグループに働く人は皆、豊かで幸せでなければならない。」
ウエストのすべての企業活動は、このためにあります。

でんきのひろば



・広島本社ビルそばに
「でんきのひろば」&「監視センター」を開設
・監視センターは、
365日　発電異常等を常時監視しています。





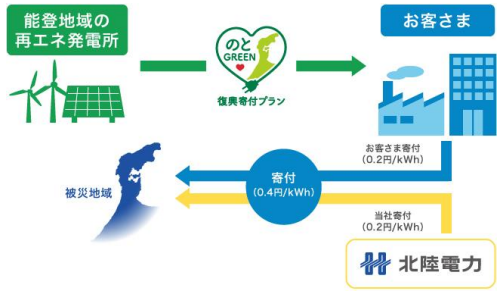
第2ビルには、しゃちほこが！

広島城の天守閣屋根瓦の改修工事を
ウエストグループが受注。
取り換えした天守閣のしゃちほこを展示



のとGREEN　復興寄付プランへの協力





石川県穴水町にメガソーラーを保有し、売電事業を展開。出力規模は、太陽電池モジュール　60MW。

北陸電力が、復興を支援するための電気料金メニュー「こころをひとつに震災復興応援でんき」を創設。
「こころをひとつに震災復興応援でんき」の『のとGREEN　復興寄付プラン』に穴水町のメガソーラーで発電した電気を供給。kWhあたり　0.4円を石川県および富山県に寄付。

カンボジアの小学校再建に協力





カンボジアの未来を担う児童たちの学習環境の改善に寄与することを目的として
チャンバック小学校の再建と太陽光発電システムと蓄電池の導入・設置を行いました

太陽光発電で生み出した環境価値をJクレジットに活用

・自家消費太陽光発電、余剰売電太陽光発電、LED照明の設置により、消費電力が削減になった分を「Jクレジット」制度で環境価値に。
・「Jクレジット」により得た環境価値は、RE１００やESGを推進する企業が購入。
・生まれた対価は子育て支援や植林などの地域貢献活動に活用。



リサイクル・リユースの取り組み





将来の太陽電池モジュールの大量廃棄に備え、使用済の太陽電池モジュールの
リユース・リサイクルの体制を整え、資源を再利用することで、環境負荷をおさえて
まいります

ディスクレーマー

本資料は弊社グループの企業情報などの提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、弊社の発行する株式その他有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、弊社はその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではなく、また、弊社はその内容を更新する義務を負うものではありません。

また、本資料に記載される弊社グループの計画、見通し、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における弊社の判断又は考えにすぎず、実際の弊社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外のエネルギー政策、法令、制度、市場等の動向、弊社グループの事業に必要な許認可の状況、土地や発電設備等の取得・開発の成否、天候、気候、自然環境等の変動等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

本資料の記載金額は、原則、連結数値を使用、百万円未満は切り捨てとしているため、各欄の合計値と合致しない場合があります。

本資料に関するお問合せ先

WEST GROUP
株式会社ウエストホールディングス

東京本社　経営企画部　IR担当

https://www.west-gr.co.jp/contact/

TEL：03−6812−2501　（代表）